

7 サプライズでのプロポーズを成功させるには？

プロポーズのために一人でダイヤモンドリングを用意し、愛の言葉とともに渡すサプライズは感動的ですが、成功させるには綿密な準備が必要です。まずは相手の指輪のサイズのリサーチを。小さくて入らないと残念な気持ちにさせてしまうので、少し大き目を選ぶなど、購入するお店にも相談してサポートしてもらおうと良いでしょう。デザイン選びの参考には相手の雰囲気わかる写真をお店の方に見せてアドバイスをもらいましょう。レストランなどプロポーズする場所の方にも事前に伝えておくと演出のお手伝いをしてくれることもあります。



ジャパンブランドのブライダルリングから ジュエラーとの長い付き合いを！

エンゲージリングの購入は、ジュエラーとの付き合いの入口です。その後、マリッジリングの購入、クリーニングやサイズ直し、さらに記念日ジュエリーやファッションジュエリーの購入、そして次の世代に至るまで信頼でき何でも相談できるお店を選んでください。毎日、そして一生身につけるものだからこそ、確かな品質とサービスに支えられた日本の企業が製作・展開するブランドで、ダイヤモンドのエンゲージリングを選ぶことをおすすめします。



この冊子の情報はQRコードからでも
ご覧いただけます。



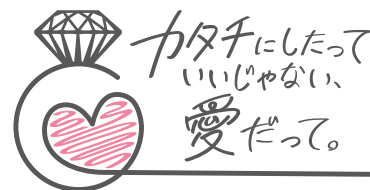
一般社団法人日本ジュエリー協会
TEL 03-3835-8567
<https://jja.ne.jp>



— 永遠の愛の証 —

ダイヤモンドの婚約指輪を選ぶ

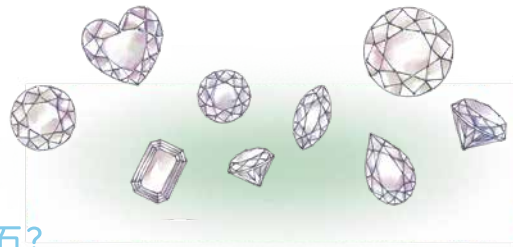
7つの理由



永遠の愛の証として贈られる
エンゲージリング（婚約指輪）
なぜ誓いの指輪が必要なの？
なぜ天然ダイヤモンドがふさわしいの？
長くずっと楽しむためには？
運命の指輪選びのための7つの質問に答えます



一般社団法人日本ジュエリー協会



1 ダイヤモンドって、どんな宝石？

ダイヤモンドの誕生は30億年前ともいわれ（諸説あり）、地底のマントルの活動によって結晶した炭素が、火山活動によって地表近くまで押し上げられたと考えられています。人類はその類まれな美しさと硬さに魅了されてきました。ダイヤモンドの名前はギリシャ語の「ADAMAS（アダマス=征服しがたい）」に由来。美しさと何物にも侵されない硬さに強さのイメージを重ねて、身につける人を守護する特別な存在と信じられてきました。

2 なぜ婚約指輪にダイヤモンドを選ぶの？

30億年も前に地底深くで生まれた天然のダイヤモンドが、長い時を経て人によって採掘され、遥か遠い産地から私たちのもとに届くのは、お二人がこの広い地球上で出会ったことと同じく奇跡です。また、ダイヤモンドは地球上で最も硬い宝石であり、その硬さをお二人の絆に重ねることもできます。そしてダイヤモンドの輝きは永遠で、親から子へ、さらに次の世代へと受け継ぐことができる大切な財産となります。永遠の愛を誓うお二人が思いを託し、これからの人生の大切な宝物とするには天然ダイヤモンドの指輪が最適なのです。ちなみにプロポーズや婚約の際に大切な人に贈るのがエンゲージリング（婚約指輪）、婚姻の印として結婚式の際にお二人が交換するのがマリッジリング（結婚指輪）で、二つを重ねづけするのもおすすめです。

3 いつからダイヤモンドが婚約指輪に使われているの？



結婚という約束の証として指輪を贈る風習は古代ローマ時代からあり、左手薬指に心臓と繋がる血管があると信じられこの指につけるようになりました。歴史上はじめてのダイヤモンドのエンゲージリングは、15世紀に、後に神聖ローマ皇帝となるハプスブルグ家のマクシミリアン1世がブルゴーニュ公国の姫マリー・ド・ブルゴーニュに贈ったものという説が有力です。

ダイヤモンドは長くインドのみで採掘されていましたが、18～19世紀にブラジル、南アフリカで発見されると供給量が増加。19世紀末には現在のエンゲージリングの主流となっているダイヤモンドを細い金属の爪で留

めるスタイルが誕生しました。日本でダイヤモンドのエンゲージリングが一般化したのは1960年代頃。1970年代には「婚約指輪は給料3ヶ月分」というフレーズも普及しました。2023年の調査*ではアメリカでは結婚したカップルの85%がダイヤモンドのエンゲージリングを選んでいます。

イギリスのエリザベス女王のエンゲージリングには、夫君であるエディンバラ公フィリップ殿下の母君アリス妃のティアラのダイヤモンドが使われています。このように、ダイヤモンドは時を超え形を変えながら次の世代へとファミリーで受け継いでいくこともできます。お二人が選ぶダイヤモンドのエンゲージリングは、この先ずっと続いていく幸福な歴史の始まりなのです。

*出典：The knot 2023 Real Wedding Study



4 特別な日だけでなく、デイリーに楽しめるリングは？

せっかくのダイヤモンドのエンゲージリング、出番が少なくではもったいないと思いませんか？ワーキングシーンやカジュアルな場面でも日常的に身につけやすいのは、高さを抑えたセッティングで、ぶつけたり引っ掛けたりしにくいデザインのリングです。また、マリッジリングと重ねづけすることで収まりがよく、程よいボリューム感を演出することもできます。

5 ダイヤモンドリングのお手入れ方法は？

ダイヤモンドは、いつもつけていると皮脂や化粧品などで本来の輝きが鈍ってしまうことがあります。美しい輝きを保つには定期的なクリーニングが大切です。ご自宅では洗面器にぬるま湯をため中性洗剤を入れてやさしく洗浄し、汚れを落として真水ですすいでください。シンクで洗う場合は誤って流してしまうことのないように、必ず栓をした状態でおこないましょう。時々購入されたお店でプロによるクリーニングをおこなってもらうのもおすすめです。

6 お直しやメンテナンスはどうすれば良い？

これからお二人で歩んでいく人生の中で、ずっと身につけ続けたいエンゲージリング。でも、体型の変化で指のサイズが変わり、緩くなったりきつくなったりすることがあるかもしれません。また、毎日つけているとどうしてもダイヤモンドの輝きや貴金属の艶が鈍ったり、小さなキズがついたりすることもある。そんな際には購入したお店で気軽に相談してみてください。指輪選びの際には購入後にどんなアフターケアが受けられるのか確認しておくとも良いでしょう。